

美里町新中学校整備等事業

実施設計 概要書

敷地概要

所在地	宮城県遠田郡美里町字新峯山地内
敷地面積	図上計測 39,809.73 m ² 、登記面積 38,515 m ²
用途地域	都市計画区域内未線引、用途指定なし
建蔽率、容積率	70%、200%
防火・準防火地域	指定なし、建築基準法第 22 条区域
立地	<ul style="list-style-type: none"> ・現況は農地で、JR 小牛田駅から約 450 m と近接立地 ・アクセス道路は町道小牛田南郷線で、計画地は当該道路に接道
法規制等	<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地宮城県農地整備事業完了地区 ・洪水時浸水深 0.5 m ～ 3.0 m 未満

(令和 3 年 6 月 美里町新中学校整備等事業 募集要項より)



まちと新中学校の関係を俯瞰



① 駅東線から敷地を望む



② 駅東 2 号公園



③ JR 小牛田駅から学校に向かう歩道



④ JR 小牛田駅ロータリー



新中学校敷地およびその周辺図

施設全体構成の考え方

「教室は大きな家・学校は小さなまち」

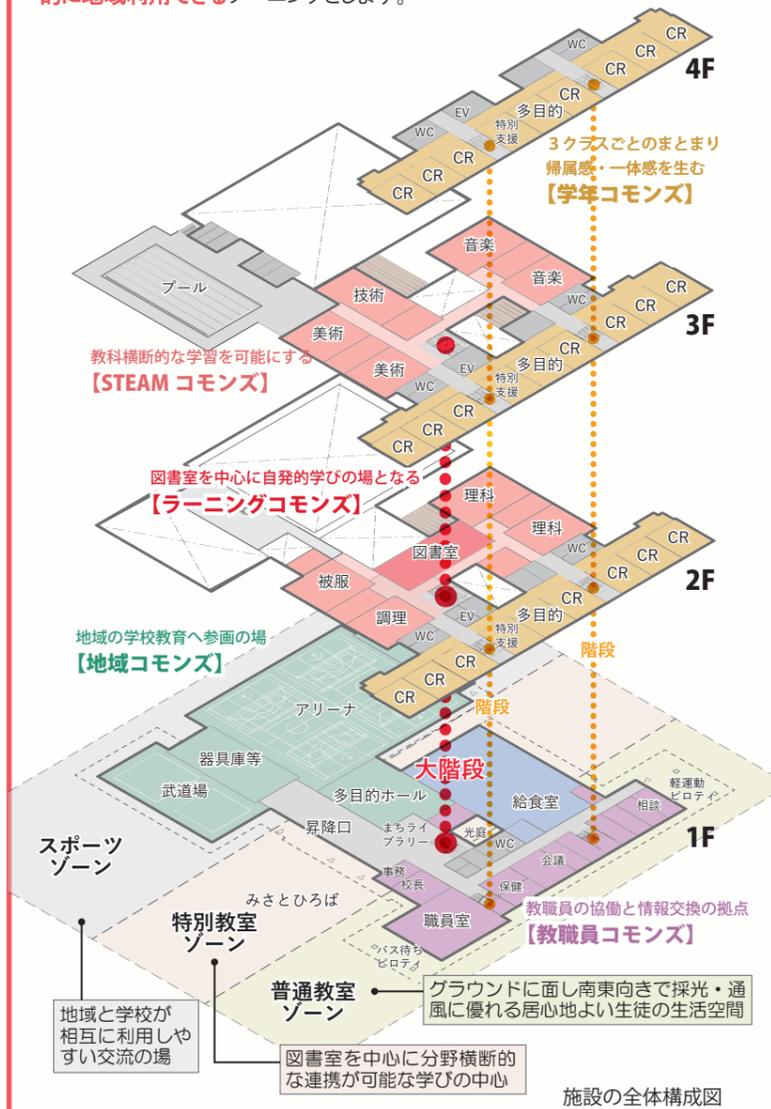
- ・生徒の生活空間となる教室は安心できる居場所、自由に活動できる「大きな家」のような場所としてつくります。
- ・学校全体は好奇心や学習への意欲をかきたて地域とも連携する「小さなまち」としてとらえ、主体的に学びに向かい、協働して学びを深め、多様な活動を誘い出します。

①「コモンズ」で構成する次世代型の学校空間

- ・「令和の日本型学校教育」が示す「個別最適な学びと協働的な学び」を実現し、全ての子供たちの可能性を引き出す次世代型の学校づくりをします。
- ・教室と教室前のスペースが連携し**多様な学びを可能にする空間のまとまり＝「コモンズ」**で学校空間を構成します。

②3つのゾーンからなる「まち」のような学校

- ・「スポーツゾーン」「特別教室ゾーン」「普通教室ゾーン」の3つで構成、図書室・多目的ホールを中心に配置します。
- ・昇降口に面する「大階段」で1・2階を一体化し、**特別教室ゾーンを将来的に地域利用できるゾーニング**とします。



具体的な建築計画について

① 3クラスごとのまとまり「学年コモンズ」

- ・普通教室は3クラス 90 人程度のまとまりを「学年コモンズ」として構成します。生徒たちが一体感・帰属意識を持てる大きさの集団で、教員の協働体制のもと、クラスを超えた多様な学習活動ができるようにします。
- ・学年コモンズごとに階段やトイレがあることで、普通教室前が通過動線にならず「大きな家」のような空間とします。
- ・廊下にはベンチやロッカー、掲示板、多目的コーナーを設け、授業での協働的な学びや、休み時間の居場所・交流の場として設えます。

② 多様な学習形態に対応する普通教室

- ・普通教室はアクティブラーニングなどの多様な学習形態に対応できる空間とします。
- ・ロッカーを廊下に設け教室空間を有効利用します。
- ・教室内の壁をホワイトボードや掲示板として活用、どこでも協働学習が生まれるようにします。
- ・廊下との間は建具を開けてつなげて使うことができ、廊下と合わせて活動面積を拡張できます。

③ まとまりと連携で学習の幅を広げる特別教室

- ・特別教室は教科を横断して連携利用が可能な「STEAM コモンズ」とし、生徒の能動的学びを拡張します。
- ・各特別教室前に「教科ひろば」を設け、教材棚、掲示スペース、テーブルやイスを設置します。
- ・教科ひろばを中心に各教科に特色をもたせた「教科コモンズ」を構成します。生徒の好奇心や学習意欲をかきたて、主体的で深い学びを実現します。

④ オープンでいつでも立ち寄れる図書室

- ・図書室は校舎全体の中心で主要動線に面するよう配置します。これにより「気軽に立ち寄れる」身近な場所、教室と違った過ごし方ができる居場所になります。
- ・図書室とそのまわりに配置された教科ひろばが連携し「ラーニングコモンズ」を構成します。教科横断的な学びに対応する次世代型の教育環境を整備します。

⑤ 「出会い」「交流」「発見」が生まれる動線計画

- ・生徒が日常的に昇降口から普通教室へ移動する際、大階段を上り図書室や特別教室の前をすることで、学習への興味生まれるきっかけをつくります。
- ・立体的な回遊動線を巡らせることで、行き止まりがなく複数のルートを選択でき、利便性が高まるとともに「出会い」「交流」「発見」が生まれます。

⑥ 生涯スポーツの場となり地域交流を促す体育施設

- ・地域開放玄関から屋内運動場、武道場、多目的ホールへのアクセスがしやすく、地域利用がしやすい計画とします。
- ・学校エリアとは明確に管理区分できる計画とします。
- ・屋内運動場北側に屋外運動場とつながるサブ玄関を設け、部活動や災害時など様々な利用形態に対応します。

⑦ 多様な利用形態を想定した多目的ホール

- ・アリーナや昇降口との一体利用が可能で、イベント時にホワイエや練習スペースとして使うことができます。
- ・2層吹抜で表現活動や集会、軽運動など多目的利用ができ、2階図書室の様子が見えるなど地域と学校の交流を生み出す場となります。

⑧ 地域と学校で共創する「まちライブラリー」

- ・地域と協働・連携する共創空間として、多目的ホールに隣接して「まちライブラリー」を設けます。
- ・統合する3中学校の歴史展示、生徒・教職員・地域住民の交流スペースなど、多様な活用と交流を生む場となります。

⑨ インクルーシブ教育を実現する特別支援教室の計画

- ・特別支援教室は、通常学級の生徒と日常的に交流できるよう、教室群の中央に配置します。
- ・特別教室とも行き来しやすく、音楽、美術、技術、家庭科室等での協働学習が行いやすいように計画とします。
- ・階段・EV に近く、他のクラスの前を通らずに行き来できることで、個々の状況や通学時間の違いに配慮します。

⑩ 変化に対応し得る弾力的な施設計画

- ・生徒数の減少やカリキュラムの変更、生涯学習の場として地域開放エリアの拡大、用途変更など、将来考えられる変化への対応に備えます。
- ・内部の間仕切りは乾式を基本とし、変更が可能にします。

⑪ 生徒がのびのびと活動できる豊かな屋外活動空間

- ・コンパクトな校舎とすることでグラウンドを広く確保し、野球、サッカー、陸上と同時に活動できるレイアウトとします。
- ・軽運動場を設け、部活動の充実と、スクールバス通学の生徒の運動不足解消に寄与します。

■建物概要

校舎棟	構造：RC造・S造
※屋内運動場、給食室、武道場、プール含む	階数：4階建て
	延床面積：9,758.21㎡（建築基準法算定）
	建築面積：4,581.84㎡（建築基準法算定）

■グラウンド

屋外運動場（野球場1面、ソフトボール場1面、サッカー場1面、200m周遊トラック、110m直線コース）、テニスコート4面、軽運動場、

■駐車場・駐輪場

職員用駐車場60台、来客用駐車場67台、車椅子用駐車場1台、スクールバス用駐車場4台、駐輪場304台

■面積表

校舎棟	校舎	1階	2,207.73	9,758.21	9,758.21
		2階	2,085.08		
		3階	1,999.74		
		4階	1,097.68		
	屋内運動場・武道場			2,184.89	
	プール付属室			183.09	
	部室棟				148.24
	計				9,906.45



△ 鳥瞰パース



△ 正面側外観



△ 教室側外観



△ みさとひろば



△ バス待ちピロティ



△ 図書室



△ 普通教室



△ アリーナ



△ 多目的ホール



△ まちライブラリー

① まちとつながる学校

- ・小牛田駅から学校敷地へと延びる駅東線の正面に校舎を寄せた配置とすることで、学校がまちへ「顔を出し」、生徒の様子や学校のにぎわいがいつでも感じられる「**地域にとって身近な学校**」にします。
- ・学校と地域をつなぐ「**みさとひろば**」を整備し、生徒の登下校時の交流の場や、マルシェなど地域のイベントの場として、地域と学校の接点をつくります。

② 一体感があり出会いと交流を最大化する学校

- ・校舎、屋内運動場、武道場、給食棟、プールをひとつに集約したコンパクトな建物とすることで、どこにいてもお互いの活動の様子が感じ合える一体感ある構成とします。
- ・また動線が短くて使いやすく、各機能の連携がしやすい高機能かつ多機能な校舎を実現します。

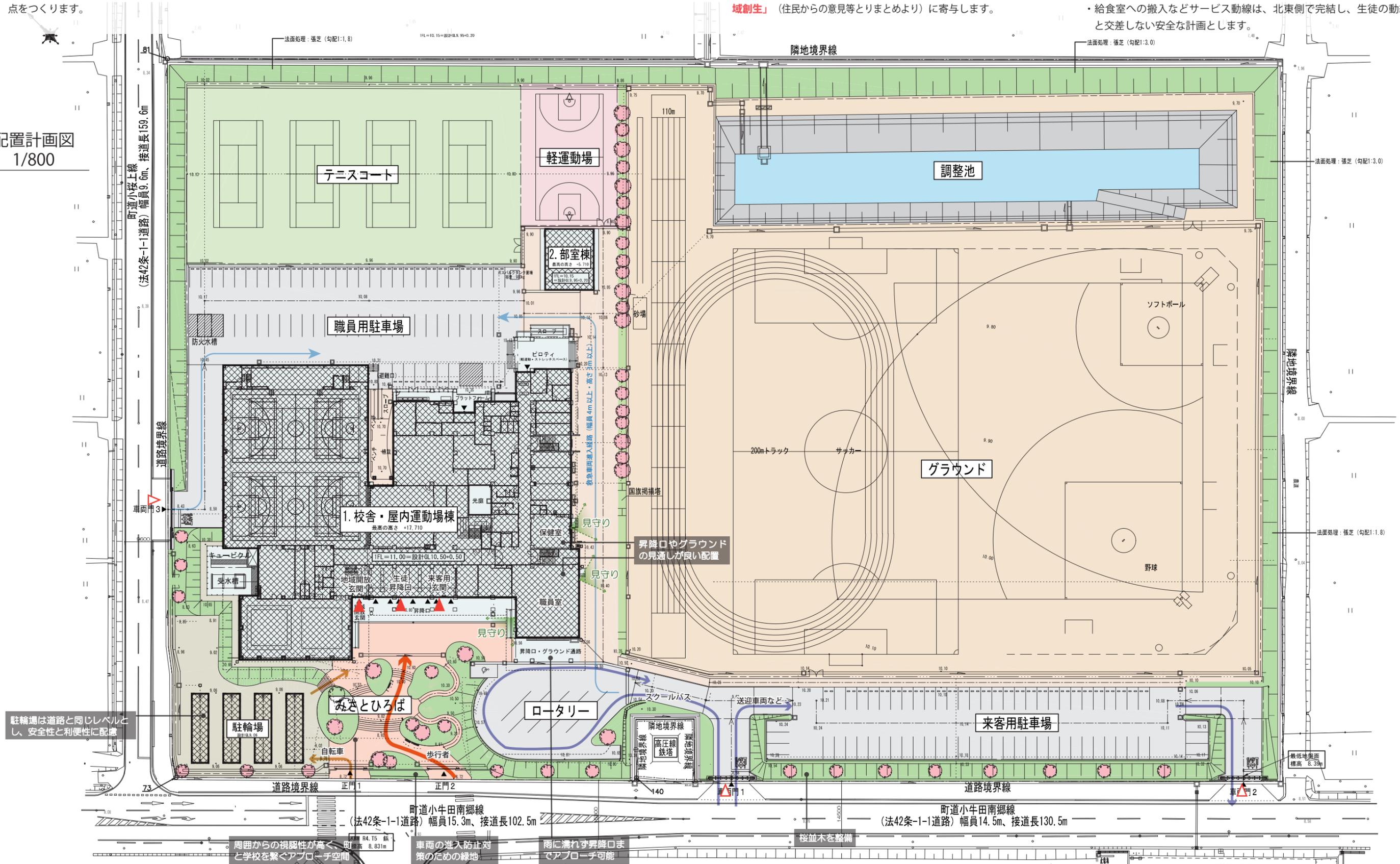
③ 学校と地域の多様な活動を可能にする屋外空間

- ・コンパクトな建物とすることで屋外活動空間を最大化、各競技フィールドの重なりを小さくし部活動を充実化します。
- ・誰でもいつでも気軽に身体を動かせる**軽運動場**を整備し、スクールバス通学等による運動不足解消に寄与します。
- ・地域住民も利用できる運動・交流の場となり、「**スポーツを通じた地域創生**」（住民からの意見等とりまとめより）に寄与します。

④ 歩車分離の徹底

- ・生徒の出入口と車両出入口を明確に分け、歩車分離を徹底します。
- ・駐車場は利用者と来校目的に応じて使い分けられるよう敷地内に分散配置します。
- ・来客用駐車場は、朝の送迎時の渋滞緩和のため、車両出入口を2箇所設け、一方通行で通り抜けていく車両動線を計画します。
- ・給食室への搬入などサービス動線は、北東側で完結し、生徒の動線と交差しない安全な計画とします。

配置計画図
1/800





【アリーナ】

- ・田園風景に開いた明るいアリーナ
- ・多目的ホールとの一体利用が可能
- ・バスケットボールコート公式試合サイズ2面を確保

【中庭】

- ・アリーナと多目的ホールに面した中庭
- ・アリーナへの通風・採光を確保
- ・風の影響を受けにくい屋外空間として軽運動にも利用可

【地域連携室】

- ・PTA や地域の方々の活動拠点となる部屋

【まちライブラリー】

- ・町民が本を持ち寄るミニ図書館、統合する3中学校の歴史展示、生徒・教職員・地域住民の交流スペースなど、多様な活用と交流を想定

【多目的ホール】

- ・アリーナや昇降口と連携し、アリーナでのイベント時に待合や控スペースとして利用可
- ・2層吹抜で軽運動など多目的利用がしやすい

【器具庫・更衣室・WC】

- ・アリーナと武道場での共用とし、十分な大きさを確保

【武道場】

- ・みさとひろばに面し正面に配置
- ・多目的ホールとアリーナの中間的な大きさの空間として多目的利用しやすい

【相談室】

- ・個別学習指導に対応
- ・北東側玄関から出入りがしやすい配置

【給食室】

- ・多目的ホールと隣接し、ランチルームとしての活用や災害時の炊き出し利用が可能

【会議室】

- ・可動間仕切りで部屋をつなげて大会議室として利用可能

【保健室】

- ・EVに近接し、全生徒が使いやすい配置

【大階段】

- ・ステージにも利用可能な大階段。
- ・光庭に面した明るい階段

【職員室】

- ・教職員50名が入ることのできる職員室
- ・グラウンド、昇降口を見守りやすい配置



【理科室①】

- 可動式実習テーブルによって、アクティブな授業スタイルにも柔軟に対応

【理科室②】

- 先生と生徒のコミュニケーションが取りやすい、ラウンド型実験台を採用

【理科ひろば】

- 図書室と連携する専門的な書籍や展示で授業とは違った科学の面白さを提供

【進路相談室】

- 図書室に隣接し、書籍の一部を配置
- 自習室としても利用可能

【図書室】

- 校舎全体の中心で主要動線に面するよう配置
- 通路との間に壁面はなく、「ふらっと気軽に立ち寄れる」生徒の居場所
- 特別教室との連携利用により、深く広い学びに繋がる

【家庭科ひろば】

- 大崎耕土や農業、食品加工業などに関連する書籍や展示により、自らの地元について深く知る機会を提供

【被服室】

- 調理室と連携し試食での利用や、図書室と連携し閲覧・自習の場として利用可能

【調理室】

- 大階段を上った先ある、キッチンスタジオのようなオープンで明るい空間
- 将来的な地域開放を想定し、訪れやすい配置とする



2階平面図 1/300



【音楽室①】

- 普通教室2つ分以上の大きな音楽室
- 吹奏楽や大人数での利用など多目的な活用に対応

【音楽室②】

- 講義形式の授業に適したプラン

【音楽ひろば・アートテラス】

- 吹奏楽や合唱のパート練習の場として利用可能

【創作 commons】

- 美術室と技術室、創作テラスの連携活用が可能
- 工具や環境を共用することで創作・想像力の幅が広がる

【創作ギャラリー】

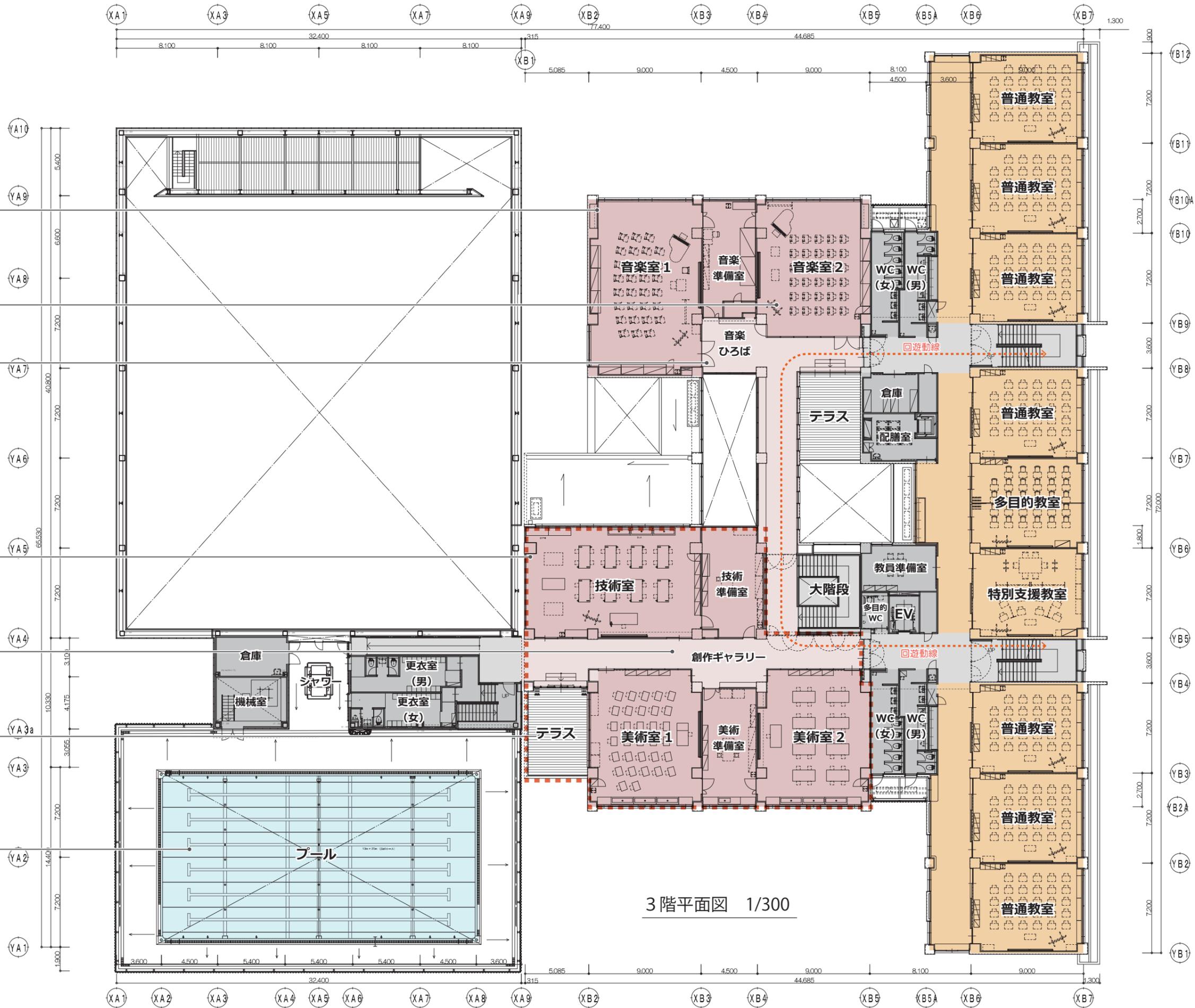
- 長い通りぬけ空間の一部に背板ない展示棚を設置

【創作テラス】

- 部屋が汚れる作業や騒音が出る作業、スペースを要する作業などを行う屋外スペース

【プール】

- 田園と駅東の町並みが一望できる展望プール



3階平面図 1/300



【普通教室】

- ・3～4クラスのまとまりに分節
教員の協働体勢や、生徒の一体
感・帰属意識につながる
- ・廊下にはベンチやロッカー、掲
示板、多目的コーナーがあり、
休み時間の居場所や交流の場、
授業でのグループワークの場と
して機能

【トイレ】

- ・各階2箇所に分散配置し、混雑
しにくく使いやすさに配慮
- ・窓からの自然採光を確保した明
るいトイレ

【階段】

- ・移動教室等の際、他の学年コ
モンズ前を通過することなく移動
可能

【多目的教室】

- ・特別支援教室との連携利用可能
- ・スライディングウォールによ
って分割して利用可能

【教員準備室】

- ・光庭に面した明るい空間であり、
主に特別支援教室の教員同士が
指導の相談・準備をする場所と
して利用

【特別支援教室】

- ・通常学級の生徒と日常的に交流
できるよう、普通教室ゾーンの
中央近くに配置
- ・階段・EVに近く、他のクラス
の前を通らずに行き来できるこ
とで、個々の状況や通学時間の違
いに配慮

4階平面図 1/300